

第 8 回 松戸市立病院建替計画検討委員会資料

2011 年 2 月 16 日

概算事業費（再整備費用）

概算事業費（再整備費用）

金額単位：千円

項目	金額（税込）
事業費総計	17,324,500
(1) 建設費	13,790,000
(2) 設計・監理委託費	689,500
(3) 機材整備費	2,500,000
(4) 諸雑費	345,000

<内訳>

項目	条件	金額（税込み）
(1) 建設費		13,790,000
1) 新築工事費	新1号館、新2号館、新6号館、新7号館、外構工事含む	10,220,000
2) 改修工事	3号館、4号館、新6号館	2,570,000
3) 解体工事費	1号館、2号館、医師住宅	510,000
4) その他仮設・盛替工事	仮設渡廊下工事、盛替工事、仮設渡廊下解体	240,000
5) 地下駐車場	新1号館地下に約20台の駐車場	250,000
(2) 設計・監理委託費	建設工事費の5%	689,500
1) 基本設計費	建設工事費の0.6%	82,740
2) 実施設計費	建設工事費の2.4%	330,960
3) 監理委託費	建設工事費の2%	275,800
(3) 機材整備費		2,500,000
1) 医療機器費	これまで検討してきた計画を参考とする。	1,600,000
2) 備品費	同上	400,000
3) 医療情報システム導入費	同上	500,000
(4) 諸雑費（移設費用等）		345,000
1) 移転・移設費用	引越し費用等	230,000
2) その他経費	移行準備費	115,000

再整備事業費

(1) 建設費

新築部分の工事単価は、約320,000円/㎡とします。

- ・新築工事単価は狭隘な敷地による困難な工事であることを見込んだ金額で設定（因みに、国立病院機構の病院建築標準仕様単価は300,000円/㎡）
- ・新1号館、新2号館、新6号館は免震構造の採用を想定した単価
- ・その他単価は公共工事標準による

建設費には、土壌汚染対策費、電波障害対策費、アスベスト調査及び処理費、近隣対策費、各種負担金、ヘリポート設置費等を含まないものとします。

(2) 設計・監理委託費

建設工事費に相場の設定比率を乗じて算出します。

(3) 機材整備費

①医療機器費

整備総体医療機器のうち約7割程度は移設で対応することを前提とします。

②備品費

整備総体備品のうち約5割程度は移設で対応することを前提とします。

③医療情報システム導入費

現病院の電子カルテシステム導入時と同規模のものを前提とします。

(4) 諸雑費

①引越し及び機器移設費用

各段階での移設規模と物量を想定し、実勢単価により概算を試算します。

②移行準備費

設計段階から開設までの期間に必要とされる運営システム策定と医療機器整備等に関わる委託費用を計上します。

松戸市立病院建替計画における事業収支設定条件

【収入】

項目	基本条件	単位
1. 医業収益		円/月
(1) 月当たり入院収益		円/月
① 病床数	入院患者に供するベッド数(ベッド数は工期ごとに異なる)	床
② 病床利用率 (算定式) 年間在院患者数 ÷ 年延病床数 × 100 (※平成21年度実績 167,827 ÷ 208,050 × 100 = 80.66)	別途設定条件による	%
③ 入院診療単価 (算定式) 年間入院収入 ÷ 年間入院延べ患者数 (8,104,398,014 ÷ 167,827 = 48,290.1)	別途設定条件による (平成21年度の実績値 看護配置10:1の場合 48,290円)	円/人
④ 1日平均入院患者数	年間延べ入院患者数 / 診療日数	人/日
(2) 月当たり外来収益		円/月
① 外来診療単価	平成21年度実績値より設定。(12,582円)	円/人
② 1日平均外来患者数	平成21年度実績値より設定。(1,018人)	人/日
(3) その他医業収益		円/月
① 室料差額	平成21年度実績値より設定。 工事期間中は0円で設定。	円/月
② その他	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
2. 医業外収益		円/月
受取利息等	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
国庫補助金	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
県補助金	県補助金の積算根拠より設定。	円/月
負担金・交付金		円/月
一般会計負担金	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
他会計負担金	平成21年度実績値で推移するものとする。	円/月
雑収益	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
その他の医業外収益	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
看護学校収益	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
保育所収益	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
3. 特別利益	平成21年度対医業収益比率より算出	円/月

【支出】

項目	基本条件	単位
1. 医業費用		円/月
(1) 給与費		円/月
① 給料	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
② 手当等	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
③ 賃金	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
④ 退職金給与	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
⑤ 法定福利費	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
(2) 材料費		円/月
① 薬品費	平成21年度の材料費に対する医業収益比率24.1%で設定している。外来は構成比率から算出して金額を固定値としている。入院は、対医業収益比率と入院の構成比率を乗じて設定している。	円/月
② 診療材料費		
③ 医療消耗品費		
④ 給食材料費	給食材料費は、現行の委託費に計上されているが、1人1日690円(3食分)として、乳児除く入院患者に現行の配食率(69%)を乗じて算出する。	円/月
(3) 経費		円/月
① 光熱水費	平成21年度実績値や延べ床面積における比率で設定	円/月
② 委託費	平成21年度実績値や延べ床面積における比率で設定	円/月
③ 修繕費	平成21年度実績値や延べ床面積における比率で設定	円/月
④ 賃借料	平成21年度実績値や延べ床面積における比率で設定	円/月
⑤ その他の経費	平成21年度実績値や延べ床面積における比率で設定	円/月
(4) 減価償却費	再整備事業費を考慮して設定。	円/月
(5) 資産減耗費	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
(6) 研究研修費	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
2. 医業外費用		円/月
支払利息等	再整備事業費を考慮して設定。	円/月
雑損失	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
繰延勘定償却	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
雑支出	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
看護学校費用	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
保育所費用	平成21年度実績値で推移するものとして設定。	円/月
3. 特別損失	平成21年度対医業収益比率より算出	円/月

工事に伴う入院収入及び入院収入に影響する主たる費用の予測（成人と小児科、小児外科、新生児科を一体とした場合）

1. 前提条件

①松戸市立病院建替計画検討案における入院収入前提条件

病床数：Ⅰ期工事期間は570床（Ⅰ期工事期間は感染8床を利用しない）、Ⅰ期工事終了後477床、Ⅱ期工事終了後418床、Ⅲ期工事終了後605床として設定する。（第5回松戸市立病院建替計画検討委員会資料1-3工程別各種データ比較表より）
 病床利用率：Ⅰ期工事期間は、平成21年度実績値（80.7%）とする。その後、病床規模が縮小するため病床利用率90%を推定値として設定する。各工事期間の端境期における他病院の類似事例より病床利用率を11.4%減として設定している。Ⅲ期工事終了後は、現病院の患者数実績値（平成21年度実績：1日平均患者数460人）を基準として、605床に対する患者数の割合で病床利用率を設定している。

入院診療単価：48,290円（看護配置7：1の場合は50,254円）で設定する。

入院診療日数：365日とする。

看護配置：Ⅰ期工事期間からⅡ期終了までとⅢ期工事終了後は、看護配置を10：1としている。Ⅱ期工事終了後からⅢ期工事期間までは看護配置7：1とする。

②入院収入に影響する費用の予測における前提条件

材料費：平成21年度の材料費に対する医業収益比率24.1%で設定している。外来は構成比率から算出して金額を固定値としている。入院は、対医業収益比率と入院の構成比率を乗じて設定している。

経費：光熱水費、委託費、修繕費、その他経費は、延べ床面積における比率で設定する。賃借料は平成21年度実績で設定する。

給食材料費：1人1日（3食）690円として、対象患者（乳児除く：340人）を乗じて設定する。

2. 入院収入（成人と小児科、小児外科、新生児科を一体とした場合）

金額単位：円

項目	工期 (全75ヶ月)	Ⅰ期		Ⅱ期（2号館解体→新2号館建設）		Ⅲ期（1号館解体→新1号館建設→3号館改修）			
		工事期間	移設期間	工事期間	移設期間	工事期間	移設期間	工事期間	
		15ヶ月	(1ヶ月)	26.5ヶ月	(1ヶ月)	24.5ヶ月	(1ヶ月)	6ヶ月	
(1)入院収益前提条件		病床数	570	477	477	418	418	605	605
	現状	内訳：一般病床	375	282	282	218	218	430	430
		看護配置	10：1	10：1	10：1	7：1	7：1	10：1	10：1
		産科病床	31	31	31	28	28	28	28
		看護配置	10：1	10：1	10：1	7：1	7：1	10：1	10：1
		院内ICU	10	10	10				
		看護配置	2：1	2：1	2：1				
		救急病床	24	24	24				
		看護配置	4：1	4：1	4：1				
	新	救急ICU				12	12	12	12
		看護配置				2：1	2：1	2：1	2：1
		救急HCU				30	30	30	30
		看護配置				4：1	4：1	4：1	4：1
		NICU	12	12	12	12	12	15	15
		看護配置	3：1	3：1	3：1	3：1	3：1	3：1	3：1
		GCU	58	58	58	58	58	28	28
		看護配置	7：1	7：1	7：1	7：1	7：1	7：1	7：1
		小児病床	60	60	60	60	60	56	56
		看護配置	7：1	7：1	7：1	7：1	7：1	7：1	7：1
		PICU						6	6
		看護配置						2：1	2：1
		病床利用率	80.7%	78.6%	90.0%	78.6%	90.0%	64.6%	76.0%
		診療単価（円/人・日）	48,290	48,290	48,290	48,290	50,254	48,290	48,290
		1日平均患者数（人/日）	460	375	429	329	376	391	460
1ヶ月あたりの入院試算額（工事中）	A		675,363,819	550,693,244	630,564,784	482,578,147	575,043,959	574,059,246	675,363,819
1ヶ月あたりの入院収入額（平成21年度実績ベース）	B	@48,290円	675,363,819	675,363,819	675,363,819	675,363,819	675,363,819	675,363,819	675,363,819
1ヶ月あたりの入院収入差額	C	C=A-B	0	▲124,670,575	▲44,799,035	▲192,785,672	▲100,319,861	▲101,304,573	0
試算月数あたりの入院収入の差額	D	D=試算期間×C	0	▲124,670,575	▲1,187,174,439	▲192,785,672	▲2,457,836,586	▲101,304,573	0
							「A」	I～Ⅲ期計	▲4,063,771,844

工事に伴う入院収入及び入院収入に影響する主たる費用の予測（成人と小児科、小児外科、新生児科を一体とした場合）

3. 入院収入に影響する主たる費用（材料費、経費）

金額単位：円

項 目	工期 (全75ヶ月)	I 期		II 期 (2号館解体→新2号館建設)		III 期 (1号館解体→新1号館建設→3号館改修)		
		工事期間	移設期間	工事期間	移設期間	工事期間	移設期間	工事期間
		15ヶ月	(1ヶ月)	26.5ヶ月	(1ヶ月)	24.5ヶ月	(1ヶ月)	6ヶ月
(2) 材料費 (①薬品費、②診療材料費、③医療消耗品費)	試算合計	3,502,441,224	216,031,588	6,011,540,065	206,805,074	5,373,585,206	219,196,624	1,400,976,490
	平成21年度実績	3,502,441,224	233,496,082	6,187,646,162	233,496,082	5,720,653,999	233,496,082	1,400,976,490
	差額	0	▲ 17,464,493	▲ 176,106,097	▲ 26,691,007	▲ 347,068,792	▲ 14,299,457	0
I～III期計								▲ 581,629,847
(2) 材料費 ④給食材料費	試算合計	107,036,250	6,187,752	179,538,076	5,686,923	155,986,469	6,359,554	42,814,500
	平成21年度実績	107,036,250	7,135,750	189,097,375	7,135,750	174,825,875	7,135,750	42,814,500
	差額	0	▲ 947,998	▲ 9,559,299	▲ 1,448,827	▲ 18,839,406	▲ 776,196	0
I～III期計								▲ 31,571,726
(3) 経費 (①光熱水費、②委託費、③修繕費、④賃借費、⑤その他経費)	試算合計	2,727,419,940	175,125,191	4,640,817,568	174,072,961	4,264,787,535	199,235,480	1,195,412,877
	平成21年度実績	2,727,419,940	181,827,996	4,818,441,894	181,827,996	4,454,785,902	181,827,996	1,090,967,976
	差額	0	▲ 6,702,805	▲ 177,624,326	▲ 7,755,035	▲ 189,998,367	17,407,484	104,444,901
I～III期計								▲ 260,228,149
「(2) 材料費+ (3) 経費」								▲ 873,429,721
「A- ((2) 材料費+ (3) 経費)」 入院収入影響額								▲ 319,034,2124

工事に伴う収入影響額の予測 前提条件の違いによる比較

項目		検討資料 03 頁	参考資料-1	参考資料-2	参考資料-3
前提条件	病床区分の有無 (成人と小児系の区分)	なし (一体)	あり (分離)	なし (一体)	あり (分離)
	移設に伴う病床利用率 低下の期間	1ヶ月	1ヶ月	12ヶ月	12ヶ月
	看護配置	工期により 10:1 及び 7:1 (小児は全工期 7:1)	工期により 10:1 及び 7:1 (小児は全工期 7:1)	工期により 10:1 及び 7:1 (小児は全工期 7:1)	工期により 10:1 及び 7:1 (小児は全工期 7:1)
	診療単価	一体 48,290 円 ※50,254 円	成人 45,701 円 ※48,160 円	一体 48,290 円 ※50,254 円	成人 45,701 円 ※48,160 円
※表示は 7:1 看護配置			小児※58,561 円		小児※58,561 円
工事期間中(75ヶ月間)の入院収入 への影響 【A】		▲40.6 億円	▲58.5 億円	▲63.5 億円	▲73.9 億円
入院患者の減少に伴う材料費・経 費の低減 【B】		8.7 億円	10.1 億円	11.1 億円	11.5 億円
工事に伴う収入影響額 【A-B】		▲31.9 億円	▲46.4 億円	▲52.4 億円	▲62.4 億円

(当日スライド資料)